

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業			中事業	01	林業事務事業		
小事業	01	林業事務事業			02	憩いの里山管理事業		他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興	産業環境部	林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
市の林業振興を推進するために必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業の実施により、林業全般にわたり振興を図る。

【事業の概要】

◆林業事務事業

- 旅費 52 千円
 - ・特別旅費
- 需用費 16 千円
 - ・消耗品費
- 負担金 130 千円
 - ・福井県山林協会（他5団体）負担金
- 補助金 257 千円
 - ・森林組合労務退職金共済事業費補助金

◆憩いの里山管理事業

- 賃借料 138 千円
 - ・土地借上料（2件 2,491㎡+60㎡、味岡山関係）

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	593	609	1,720	△ 16
	人件費	939	1,538	1,121	△ 598
	総事業費	1,532	2,147	2,841	△ 614
人員	正職員	0.14 人	0.23 人	0.16 人	△ 0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.23 人	0.16 人	△ 0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,532	2,147	2,841	△ 614

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	伐採届出件数	件	目標	20	20	20	20	20
			実績		28	21	11	23
			達成率(%)	0.0	140.0	105.0	55.0	115.0
指標	指標の説明 地域森林計画対象森林における伐採行為実施者からの届出数							
指標	森林経営計画数	件	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明 森林経営計画の有効件数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	概ね目標を達成しています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			
各種林業関連団体へ負担金や補助金を交付し、市の林業振興を推進しています。				
成果と改善点	<p>◆林業事務事業 各種林業関連団体への負担金を通して地元及び各関係機関等と一層の連携を図ることができました。</p> <p>◆憩いの里山管理事業 味岡山が憩いの里山として活用されています。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業			中事業	06	緑の少年団活動支援事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱、緑の募金事業実施要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 緑の尊さを学び、緑を育てる喜びを体験する緑の少年団活動に対し支援することで、少年・少女の緑化に対する意識の高揚を図る。

【事業の概要】
 ○補助金 240 千円
 ・緑の少年団活動支援事業補助金
 @60,000円×4団体
 事業実施主体：雄島緑の少年団（団員 46名）
 長畝緑の少年団（団員 54名）
 大石緑の少年団（団員 46名）
 兵庫緑の少年団（団員 86名）
 事業内容 学習・体験活動、奉仕活動、レクリエーション活動

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	240	240	240	0
人件費	738	669	841	69
総事業費	978	909	1,081	69
人員				
正職員	0.11 人	0.10 人	0.12 人	0.01 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.11 人	0.10 人	0.12 人	0.01 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	160	160	160	0
一般財源	818	749	921	69

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	緑の少年団活動数	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		市内で活動している少年団の数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	継続的な緑化活動の実施により、団員の緑化に対する意識が醸成されています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
収穫体験、花壇づくり、自然観察などの学習活動や清掃活動を実施しています。			
成果と改善点	少年団が緑化や自然に関する活動を行うことにより、自然への愛着を持ち、緑や森林の働きを理解することができました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	001	松くい虫防除事業	中	事業	01	松くい虫防除事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	森林病虫害等防除法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。

【事業の概要】
 ○需用費 (消耗品費) 32 千円
 ○委託料 12,490 千円
 ・松くい虫被害総合対策事業委託料
 事業実施場所：三国町安島、崎 他 (単位：千円)

事業 (委託) 名	事業内容	事業費	財源内訳		
			国	県	市
被害調査 (県単)	787ha (三国・丸岡)	418		179	239
地上散布 (県単)	10.0ha	961		707	254
地上散布 (市単)	10.0ha	961			961
特別伐倒駆除 (県単)	89㎡、386本	2,943		1,560	1,383
特別伐倒駆除 (市単)	36㎡、58本	1,349			1,349
樹幹注入調査	安島・陣ヶ岡地係	475			475
樹幹注入 (国庫)	グリーンガード1,277本	4,171	2,085	1,043	1,043
倒木処理外	一式	1,212			1,212
計		12,490	2,085	3,489	6,916

○原材料費 130 千円
 ○備品購入費 (ハンディGPS機器) 299 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	12,950	19,235	15,296	△ 6,285
	人件費	2,079	2,407	1,682	△ 327
	総事業費	15,029	21,642	16,978	△ 6,612
人員	正職員	0.31 人	0.36 人	0.24 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.31 人	0.36 人	0.24 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	5,574	8,035	6,549	△ 2,461
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	9,455	13,607	10,429	△ 4,151

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	地上散布	ha	目標	20	20	20	20	20
			実績		20	20	20	20
		達成率 (%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		地上散布実施面積						
指標	樹幹注入対象区域面積	ha	目標	2.3	2.3	3.6	2.3	1.9
			実績		2.3	3.6	2.3	1.9
		達成率 (%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		樹幹注入対象区域面積						
指標			目標					
			実績					
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	計画区域内において、地上散布や特別伐倒駆除、樹幹注入を併用した総合的な防除を展開し、被害を抑制しています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			計画区域内において、地上散布や特別伐倒駆除、樹幹注入を併用した総合的な防除を展開し、被害を抑制しています。
成果と改善点	コスト面や三国沿岸部の地理的性質（住居地域・観光地に隣接している）に応じた防除策を展開することにより松くい虫による被害を抑制しました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）	
方向性の理由	松林の保全のため、引き続き事業を実施していく必要があります。対象とするエリアは4年ごとに更新される保全すべき松林計画に基づき選定していますが、令和3年度は同計画の見直しの年となるため、これまでの事業成果や松保護士の専門的な意見等を取り入れて対象エリアを見直し、今後も適切な防除を実施していきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費	
大事業	001	松くい虫防除事業				中事業	06	松林健全化促進事業		
小事業								他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
松くい虫被害により森林資源の減少した松林等に、抵抗性マツの植栽等を実施し、健全な松林の維持再生を図る。

【事業の概要】
○委託料 871 千円
・松林健全化促進事業委託料 480千円
事業実施場所：三国町安島 地係

(単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳		
			国(1/2)	県(1/4)	市(1/4)
松林健全化促進事業委託料	抵抗性クロマツ植栽 N=143本 0.7ha	480	240	120	120

・松林維持管理業務委託料 391千円
事業実施場所：三国町安島 地係（東尋坊）
事業内容：松林内下草刈り A=6,100㎡

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	871	1,157	856	△ 286
	人件費	1,140	602	1,121	539
	総事業費	2,011	1,759	1,977	253
人員	正職員	0.17 人	0.09 人	0.16 人	0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.09 人	0.16 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金	360	645	360	△ 285
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,651	1,114	1,617	538

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	健全化実施面積	m2	目標	3,000	2,800	2,800	2,500	375
			実績		7,335	4,950	2,751	375
			達成率(%)	0.0	262.0	176.8	110.0	100.0
指標の説明		抵抗性クロマツの植栽や地表腐食土の除去等の実施面積						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	抵抗性クロマツを植栽することにより、減少傾向にある松林の維持を図ることができました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
<p>植栽木は自然木よりも強風の影響を受けやすいため、寄せ植えや添え木を行っています。しかし、一部では、強風による倒伏、塩害による枯損被害がみられるため、強風下における確実な植栽方法について検討する必要があります。</p>			
成果と改善点	<p>松くい虫に強い抵抗性クロマツを植栽することにより、松林の維持再生を図ることができました。今後、健全な松林を形成していくためには、長期間にわたり機能維持をすることが課題です。また、平成29年度に地掻き（腐葉土除去）を行った一部箇所です実生松の発芽を確認できました。植樹はコストや耐久性の面で限界があるため、将来的に実生松が生育できるシステムづくりも構想していく必要があると考えます。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	01	林道維持管理事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市森林整備計画		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】
 ○需用費（林道維持管理用カラーコーン） 81 千円
 ○工事請負費 29,180 千円
 ・林道災害復旧工事費 26,180千円
 （前年度繰越分）林道河内・南谷線災害復旧工事 19,044千円
 （当該年度分） 林道河内・南谷線災害復旧工事 7,136千円
 ・一般林道補修工事費 3,000千円

林道名	事業費(千円)	補修内容
河内～南谷線	880	土砂・落石除去、倒木処理
剣ヶ岳線	411	土砂・落石除去、路面補修
小近庄谷線	979	土砂・落石除去、倒木処理
大滝線	367	土砂・落石除去、倒木処理
その他路線	363	土砂・落石除去、倒木処理
合計	3,000	

林道数 29 路線 総延長 55,530 m (令和元年度末現在)

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	29,261	32,521	6,425	△ 3,260
	人件費	2,348	2,340	1,752	8
	総事業費	31,609	34,861	8,177	△ 3,252
人員	正職員	0.35 人	0.35 人	0.25 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.35 人	0.35 人	0.25 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	22,646	20,320	0	2,326
	その他特定財源	2,300	2,600	0	△ 300
	一般財源	6,663	11,941	8,177	△ 5,278

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	林道維持補修費	千円	目標	3,000	2,900	2,900	4,319	3,500
			実績		3,000	2,900	4,319	3,007
			達成率(%)	0.0	103.4	100.0	100.0	85.9
指標の説明		林道の維持補修に係る費用						
指標	林道補修工事件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績		9	11	13	12
			達成率(%)	0.0	90.0	110.0	130.0	120.0
指標の説明		林道の維持補修に係る工事件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価
 落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、工事により補修しています。令和元年度の実績は9件ですが、事業費の範囲内で実施可能な最大限の箇所の補修工事を実施しました。

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>通行に支障のある林道について、適切な補修等により、安全性を確保しています。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>豪雨等の後には林道の通行が困難になる場合があります。その際の迅速な発見、補修等の実施により早期に通行の安全を確保することにより、ひいては森林の適正な管理や効率的な林業経営に資することが期待できます。また、平成30年度の災害発生により全線通行止めになっていた林道河内～南谷線の復旧工事が完了し、主要林道としての機能を回復することができました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>落石や土砂流出等により林道の走行に支障が生じた場合、利用者の安全確保のため、今後も迅速な補修等を行う必要があります。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業			中事業	06	県単林道事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行う。

【事業の概要】
 ○工事請負費 15,000 千円
 ・林道劔ヶ岳線舗装工事 15,000千円
 [工事概要] 路面改良工（As舗装） 延長 L=550m 面積 A=2,945.0㎡

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	15,000	13,000	9,790	2,000
	人件費	1,945	2,006	1,752	△ 60
	総事業費	16,945	15,006	11,542	1,940
人員	正職員	0.29 人	0.30 人	0.25 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.29 人	0.30 人	0.25 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	7,500	6,500	4,895	1,000
	その他特定財源	7,500	5,300	4,800	2,200
	一般財源	1,945	3,206	1,847	△ 1,260

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	林道改良工事件数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績		1	5	2	2
			達成率(%)	0.0	50.0	250.0	100.0	100.0
指標の説明		林道改良・復旧工事発注件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	大雨等により異常が頻発する路線について、計画的に改良工事を実施しています。令和元年度は、工事実施路線（劔ヶ岳線）の事業費が増額したことと、工事を予定していた路線（河内～南谷線）の災害復旧工事の影響により、1件の実施となりましたが、事業費全額を工事実施路線に投じ、最大限の改良を行いました。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>風雨等により路盤が洗掘され通行に支障が生じている林道の改良・復旧工事を計画的に施工しています。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>令和元年度はあわら市と坂井市の山間部を結ぶ基幹林道剣ヶ岳線の路面改良工事の実施により、当該路線の全線開通に併せ、両市を往来する林道利用者の利便性の向上と安全性を確保することができ、林業者やその他産業従事者だけでなく、一般者の通行も容易になりました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>林道の利用について、利便性向上と安全性確保を図る必要があるため、今後も主要な林道を中心に県補助金を活用して林道の改良・復旧工事を施工していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大	事業	051	山林維持管理事業	中	事業	11	森林整備事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	森林法			
根拠例規	有	林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市森林整備計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 森林の面的整備及び振興施設整備事業に要する経費を補助することにより、森林の有する多面的機能を発揮させ、適切な森林整備を推進する。

【事業の概要】

○委託料 2,500 千円

- ・あわらし、坂井市森林整備構想策定業務

○補助金 6,000 千円

- ・森林整備事業費補助金

事業実施主体：坂井森林組合

事業内容 (単位：千円)

区分	種別	実績	事業費	補助率	補助金額
面的整備	下刈り	1.9ha	702	3%	21
	除伐	8.7ha	2,769	6%	166
	保育間伐	2.1ha	667	6%	40
	枝打ち	13.2ha	5,021	6%	301
	間伐	101.4ha	130,721	3%	3,922
振興施設整備	作業路	25,961m	172,620	0.9%	1,550
				計	6,000

補助率 ①市（上記区分による補助率）

②国県（国30%、県20%） 直接、事業者へ交付

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	8,500	6,000	6,000	2,500
	人件費	3,891	1,538	981	2,353
	総事業費	12,391	7,538	6,981	4,853
人員	正職員	0.58 人	0.23 人	0.14 人	0.35 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.23 人	0.14 人	0.35 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,500	0	0	2,500
	一般財源	9,891	7,538	6,981	2,353

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	補助件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		森林整備事業費補助金補助件数						
指標	間伐実施面積	ha	目標	80	80	80	80	80
			実績		101	116	121	75
		達成率(%)	0.0	126.3	145.0	151.3	93.8	
指標の説明		間伐実施面積						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								

指標に基づく評価
 森林整備について確実に目標を達成し、適切な森林整備を推進しているため、森林の有する多面的機能が発揮されていると考えます。

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			森林の生産基盤の共通するあわら市・坂井市共同で、中長期的な森林整備構想を策定したことで、今後段階的かつ効果的な森林整備を推進していくことができるようになりました。
成果と改善点	森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくために、間伐等の面的整備と作業路の整備を推進しました。今後も継続的な施業実施が必要です。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	101	美しい森林景観再生事業			中事業	01	美しい森林景観再生事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		美しい森林景観再生事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 自然災害や森林病虫害被害等により機能が低下している森林の機能回復のため、花木などの広葉樹等の植栽や景観を阻害する不用木の除去を行い、美しい森林景観の再生を図る。

【事業の概要】
 ○委託料
 ・美しい森林景観再生事業委託料 2,000 千円
 事業実施場所：坂井市三国町安島 地係

(単位：千円)

事業（委託）名	事業内容	事業費	財源内訳	
			県(9/10)	市(1/10)
美しい森林景観再生事業	植栽面積 1.0ha ・抵抗性 クロマツ 274本 ・トベラ 10本 ・マサキ 10本 ・防風柵 106m	2,000	1,800	200

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	2,000	1,300	1,000	700
人件費	1,140	869	1,261	271
総事業費	3,140	2,169	2,261	971
人員				
正職員	0.17 人	0.13 人	0.18 人	0.04 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.17 人	0.13 人	0.18 人	0.04 人
財源内訳				
国県支出金	1,800	1,170	900	630
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	1,340	999	1,361	341

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	ha	目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			実績		1.0	1.0	1.0	1.0
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		美しい森林景観再生事業に係る費用						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	毎年目標を着実に達成することができ、以前の美しい森林景観を取り戻しつつあります。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			抵抗性クロマツの中木を中心にトベラやマサキ等の塩害に強い低木の植樹を行いました。毎年、松くい虫の被害にあっているマツを後世に残していくには、今後も継続して植樹を行っていく必要があります。
成果と改善点	松くい虫の被害等により景観が損なわれた国定公園を含む海岸線沿いに植樹を行ったことで、以前の美しい景観を取り戻しつつあります。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	201	森林・山村多面的機能発揮対策事業			中事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	森林・山村多面的機能発揮対策事業						他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
森林所有者や地域住民が協力して、森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動や山村地域の活性化に資する取組みに対し支援を行う。

【事業の概要】

○需用費 70 千円
・消耗品費

○負担金 498 千円
・福井県森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会負担金
負担割合：国75%、県12.5%、市12.5%（活動項目により割合変動）

(単位：千円)

組織名	地区名	交付金額	うち市負担金額
下久米田里山保全会	丸岡町下久米田	2,987	150
緑の丘保全の会	三国町緑ヶ丘	1,088	80
女形谷里山を守る会	丸岡町女形谷	832	104
竹田山里会	丸岡町上竹田	1,564	164
合計（4組織）		6,471	498

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	568	980	854	△ 412
	人件費	1,811	2,540	1,752	△ 729
	総事業費	2,379	3,520	2,606	△ 1,141
人員	正職員	0.27 人	0.38 人	0.25 人	△ 0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.27 人	0.38 人	0.25 人	△ 0.11 人
財源内訳	国県支出金	70	70	50	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,309	3,450	2,556	△ 1,141

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	活動組織	団体	目標	3	4	8	8	8
			実績		4	8	8	9
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	112.5
指標の説明								
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標	25	25	36	33	26
			実績		27	36	33	26
			達成率(%)	0.0	108.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価
各活動組織において地域活動として、雑木の除伐や下刈を実施しています。また、森林における体験活動の実施によって、地域活動の広がりや、森林が有する多面的機能の必要性を共有できています。

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			活動組織の山林に対する意識の高揚やコミュニティとしての強化を図り、継続した活動が行えるよう支援していきます。
成果と改善点	集落周辺の森林にて、地域住民等が協力して保全活動を実施したことにより、地域コミュニティの醸成や地域活力の向上を図ることができました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業総務費
大事業	051	水産業事業			中事業	01	水産業事務事業		
小事業	01	水産業事務事業						他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		福井県漁港漁場協会規約		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 漁港漁場施設の整備強化及び会員共同の福利厚生を図り、漁村経済の発展に寄与することを目的とした福井県漁港漁場協会の運営経費を負担することにより、坂井市漁村地域の活性化を図る。

【事業の概要】

○負担金 111 千円

- 県漁港漁場協会負担金
 - 漁港分基本割 @10千円×3漁港=30千円
 - 漁港分事業割 53,520千円（国庫補助金額）×0.15%= 81千円
- ふくい水産振興センター負担金 28 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	139	174	131	△ 35
	人件費	939	535	1,261	404
	総事業費	1,078	709	1,392	369
人員	正職員	0.14 人	0.08 人	0.18 人	0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.08 人	0.18 人	0.06 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,078	709	1,392	369

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	福井県漁港漁場協会	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		福井県漁港漁場協会に協賛することで成果が上がる						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	福井県及び他市町が参加しており、漁業、水産業事業促進を図るうえで必要と思われます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			
福井県漁港漁場協会及びふくい水産振興センターに係る負担金。栽培漁業推進・全国の先進事例の案内など有効活用できています。				
成果と改善点	福井県漁港漁場協会及び、新設された福井水産振興センターと連携を図ることで、市内漁村地域の活性化に寄与しました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	01	漁港施設管理事業		
小	事業	01	漁港施設管理事業					他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	漁港漁場整備法			
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 漁業者の作業効率の向上と生産性の拡大を目指し、関係施設等の環境整備により漁業活動の安全と施設等の保全を図る。
【事業の概要】 ○需用費 99 千円 ・修繕料（安島漁港 安全柵設置）

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	99	220	2,164	△ 121
	人件費	1,811	1,203	1,612	608
	総事業費	1,910	1,423	3,776	487
人員	正職員	0.27 人	0.18 人	0.23 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.27 人	0.18 人	0.23 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	1,015	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,910	1,423	2,761	487

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	管理する漁港数	漁港	目標	3	3	3	3	3
			実績		3	3	3	3
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明 市の管理する漁港の数							
指標	事故数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
		達成率(%)	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標	指標の説明 維持管理上の瑕疵による事故発生件数が少ないことで成果が上がる							
指標	利用者数	名	目標	78	85	85	89	87
			実績		85	87	89	87
		達成率(%)	0.0	100.0	102.4	100.0	100.0	
指標	指標の説明 漁業協同組合員が漁業従事した数							
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	漁港利用者は高齢化が進んでおり、より安全に利用できるように施設管理が求められる中、事故などの発生はなく適正に管理がされています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			施設の機能を良好な状態に保つため、定期的な保守点検を実施しています。しかし、3漁港全てが昭和30年から昭和50年頃にかけて改修・改築を行っていることから、施設の耐用年数が迫る、又は過ぎている現状があります。そのため、今後は長寿命化計画を策定し、計画的な補修修繕を実施する必要があります。
成果と改善点	安島漁港の防波堤破損を受け、破損箇所を塞ぐための安全柵設置を行う事で、漁港利用者の安全確保を図る事が出来ました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）	
方向性の理由	令和2年度に漁港施設の長寿命化計画を策定する事から、今後は計画的な補修なども含めて事業を行っていきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費	
大事業	001	漁港漁場整備事業				中事業	06	浅海漁場改善事業		
小事業	01	浅海漁場改善事業						他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 大雨等による河川の増水に伴い、流木、ゴミ等が海岸に漂着し、海岸の環境が悪化することにより浅海漁業に支障をきたすことを防止するとともに、藻場造成による藻場面積の拡大と磯根資源の漁獲量増大を図り、浅海漁業の発展に繋げる。

【事業の概要】

- 委託料 100 千円
 - ・浅海漁場改善事業等委託料（梶漁港内の漂着物処理）
- 負担金 3,630 千円
 - （前年度繰越分） 528千円
 - ・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金
 内容：H30年度施工箇所モニタリング調査（三国町安島）
 - （当該年度分）
 - ・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金 3,102千円
 造成場所：三国町安島 造成面積：0.6ha
 - （翌年度繰越）
 - ・水産環境整備事業（藻場造成事業）負担金 260千円
 内容：R1年度施工箇所モニタリング調査

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	3,730	5,580	4,441	△ 1,850
	人件費	939	669	1,331	271
	総事業費	4,669	6,249	5,772	△ 1,579
人員	正職員	0.14 人	0.10 人	0.19 人	0.04 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.14 人	0.10 人	0.19 人	0.04 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,669	6,249	5,772	△ 1,579

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	漂着物の処分数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	1	1	3
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	300.0
指標	指標の説明	漁港施設内の漂着物の処分数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	漁港内の漂着物を処分する事で、漁港利用者が安全に施設の利用ができ、漁港付近の漁場環境の維持にも繋がっています。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>		
<p>台風や冬期間の波浪等により漂着物が発生します。漁港施設内に漂着物が漂うことは、施設の破損などの影響があるため早急な対応が求められていますが、漁業者の高齢化や担い手不足による減少などで、今後の維持管理体制が脆弱化していく恐れもあるため、維持管理に支障が出ないような体制の構築が課題です。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>海岸や漁港内の漂着物は、漁場の環境悪化にもつながるため、それらを撤去・処分する事で、浅海漁場の環境の維持に寄与する事が出来ました。また、藻場造成を行う事で、海藻類及びそれらを餌とするアワビやウニなどの継続的な利用促進を図ると共に、過年度に施工した藻場においてモニタリング調査を実施する事で、造成の効果検証を行いました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	001	漁港漁場整備事業	中	事業	11	小規模漁場保全事業		
小	事業	01	小規模漁場保全事業						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 沖合漁場の積極的な保全・創造を図るため、海底面を耕耘し活性化することにより、水産資源の持続的利用、安定供給を確保する。また、沿岸域においては、流木等の浮遊ゴミを除去することにより、操業における安全確保や漁場環境の保全を図る。

【事業の概要】

○委託料 25,500 千円

- ・小規模漁場保全事業委託料

委託先：三国港機船底曳網漁業協同組合 (単位：千円)

事業実施場所	事業内容	事業費	財源内訳			
			国(1/2)	県(1/4)	市	その他
三国第1漁場	漁場整備面積 1,240ha	12,636	6,318	3,159	1,895	1,264
三国第2漁場	漁場整備面積 1,345ha	12,864	6,432	3,216	1,930	1,286
合計		25,500	12,750	6,375	3,825	2,550
		補助金計	19,125			

○賃借料 214 千円

- ・検査船借上料

○補助金 2,075 千円

- ・沿岸漁場環境改善事業補助金

内容：沿岸漁場における浮遊ゴミの除去

補助事業者：三国港漁業協同組合

事業費：3,112,200円 負担割合：県1/3、市1/3、漁協1/3

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	27,789	25,727	27,659	2,062
	人件費	2,012	669	1,892	1,344
	総事業費	29,801	26,396	29,551	3,406
人員	正職員	0.30 人	0.10 人	0.27 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.10 人	0.27 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	20,162	19,125	20,574	1,037
	その他特定財源	2,935	2,926	2,957	9
	一般財源	6,704	4,345	6,020	2,360

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	越前がに 水揚げ量	kg	目標					
			実績		56,473	57,627	66,721	77,384
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による漁獲量					
指標	カレイ 水揚量	kg	目標					
			実績		39,500	36,495	33,421	30,368
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による漁獲量					
指標	沖合漁業生産量	t	目標	455	455	455	455	455
			実績		438	456	446	422
			達成率(%)	0.0	96.3	100.2	98.0	92.7
独自指標	指標の説明		底曳網漁業による全体の漁獲量（水産振興基本計画の成果目標）					
指標	浮遊ゴミ除去作業参加者	人	目標	88	92			
			実績		63			
			達成率(%)	0.0	68.5	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明		浮遊ゴミ除去作業に参加した延べ人数					
指標に基づく評価	水揚げ量については、TAC（漁獲可能量制度）に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少なども影響してきますが、これまでの漁場保全活動の効果により、底曳網漁業の水揚げは増加傾向になっています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
<p>水産物の水揚げは、気温や水温、気象その他の自然条件や、TAC（漁獲可能量制度）等の規制などが影響してくるため、事業効果の評価が難しい面もありますが、近年は底曳網漁業全体での水揚げも増加傾向にあるので、今後も漁場保全を行いながら、水産物の持続的な利用や安定供給を図ります。</p>			
成果と改善点	<p>海底耕耘の実施により、堆積物やそれらが硬化した沖合の底土を攪拌する事で、越前がにやカレイなどの生息環境の改善を図り、水産資源の持続的利用に寄与しました。また、沿岸漁場の浮遊ゴミを除去する事で、水産資源に対する悪影響（魚などのマイクロプラスチック取り込み問題など）や、流木などの大型ごみと漁船の衝突事故などの防止に寄与しました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	051	水産業経営支援事業	中	事業	01	水産業経営支援事業		
小	事業	01	水産業振興事務事業	02	水産業経営安定事業	他2事業			

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
水産業の近代化、安定化及び不漁・災害時における経営の安定化に資するため、各種融資制度、助成制度による支援を行うことにより、水産業経営の基盤強化を図る。

【事業の概要】

- ◆水産業振興事務事業
（翌年度繰越）
 - 委託料 ・三国港市場再生プロジェクト業務委託 1,958 千円
 - 使用料（先進地視察のための有料道路通行料） 7 千円
 - 補助金 ・水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業費補助金（3件） 7 千円
- ◆水産業経営安定事業
 - 負担金 375 千円
 - ・福井県新規漁業就業者支援協議会負担金
内容：ふくい水産カレッジ（海女コース）1名
負担割合：県1/2、市1/4、漁協1/4
 - 補助金 8,826 千円
 - ・漁業近代化資金利子補給事業費補助金（6件） 302千円
 - ・漁獲共済加入助成事業費補助金（7件） 554千円
 - ・漁業用燃油高騰対策事業費補助金 3,747千円
 - ・漁業経営安定支援事業補助金（省エネ活動推進事業） 4,223千円
- ◆漁業振興資金融資事業
 - 貸付金 ・漁業振興資金預託金 20,000 千円
- ◆制度融資利子補給事業
 - 補助金 ・制度融資利子補給金（8件） 376 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	■新規漁業就業者支援
-----------	------------

4.事業のコスト

（単位：千円）

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	29,591	35,275	27,791	△ 5,684
	人件費	2,683	3,276	1,121	△ 592
	総事業費	32,274	38,551	28,912	△ 6,276
人員	正職員	0.40 人	0.49 人	0.16 人	△ 0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	0.49 人	0.16 人	△ 0.09 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	20,000	20,000	20,000	0
	一般財源	12,274	18,551	8,912	△ 6,276

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	漁業経営の貸付利子補給	件	目標	14	17	23	18	17
			実績		17	23	18	17
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明	利子補給の対象となった件数							
指標	新規就業者支援	件	目標	3	3	3	3	3
			実績		2	0	0	1
		達成率(%)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	
指標の説明	新規就業者支援の対象となった件数							
指標	燃油高騰対策	件	目標				34	40
			実績		35	36	34	40
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
指標の説明	漁業燃油補助対象者で補助申請した経営体数							
指標	漁業共済加入	件	目標	7	7	7	7	7
			実績		7	7	7	7
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明	漁業共済加入のうち支援の対象となった件数							
指標に基づく評価	漁業経営に関する各種支援により、経営の安定化や水産物の安定供給などに効果があると考えます。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>	
<p>漁業者の高齢化が課題となっているが、特に採貝採藻漁を営む海女の平均年齢は70歳代と超高齢化が進んでいるため、早急な新規就漁対策が必須となっています。</p>		
<p>成果と改善点</p>	<p>●水産業振興事務事業 過年度に策定した坂井市水産振興基本計画により、水産業における各種課題について漁業者へも理解が広がり、今後の各種振興施策の検討・実施に向けて、市と漁業者が一体となって取り組めるようになりました。その中で、令和元年度より三国市場の再生に向けた計画策定に取組みました。</p> <p>●水産業経営安定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井県新規漁業就業者支援協議会負担金 福井水産カレッジ（海女コース）設立時（H27）より2人目の受講生に対して、座学研修や漁業実習への支援を行うことで海女の新規就業に寄与することが出来ました。 漁獲共済加入所税事業費補助金 不漁や荒天時に漁業所得を補う漁獲共済制度の加入支援を行う事で、漁業者が共済に加入しやすくなり経営安定や市の水産ブランドの安定供給に寄与する事が出来ました。 漁業経営安定支援事業補助金（省エネ活動推進事業） 平成30年度より補助内容を見直し、燃油使用量に対する補助を船底清掃（船底を清掃する事で波の抵抗を減らし燃料消費を抑える）の補助に変更しました。それにより、令和元年度は32経営体の航行時の経費削減による魚価経営の安定に寄与しました。 漁業用燃油高騰対策事業費補助金 平成30年度より、福井県漁連のA重油供給単価の3カ月平均が一定額以上になった場合に補助対象となるよう要領の見直しを図りました。そのことから、燃油価格と補助対象月にずれが出ないように、令和元年度も燃油の高騰に合わせて、35経営体の経営安定に寄与する事が出来ました。 	

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>
<p>方向性の理由</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	06	栽培漁業自立支援事業		
小事業	01	栽培漁業自立支援事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
栽培漁業を支援することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁獲資源の回復を図り、資源の持続的な活用による中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図る。

【事業の概要】
○補助金 2,096 千円
・栽培漁業自立支援事業補助金

(単位：千円)

事業実施主体	事業内容	補助対象事業費	補助金額	内訳		
				市	その他	事業主体
三国港漁業協同組合	種苗放流事業 マダイ 15,000尾 ヒラメ 26,000尾 キジハタ 2,000尾	2,515	1,078	1,078	358	1,079
雄島漁業協同組合	稚貝育成放流事業 アワビ 28,700個	2,036	1,018	1,018	-	1,018
計		4,551	2,096	2,096	358	2,097

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	2,096	2,129	2,208	△ 33
	人件費	1,476	1,337	1,331	139
	総事業費	3,572	3,466	3,539	106
人員	正職員	0.22 人	0.20 人	0.19 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.22 人	0.20 人	0.19 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,572	3,466	3,539	106

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	アワビ放流数	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
			実績		28,700	37,000	37,000	37,000
			達成率(%)	0.0	77.6	100.0	100.0	100.0
指標の説明		アワビ稚貝の放流数						
指標	ヒラメ放流数	尾	目標	20,000	26,000	26,000	26,000	30,000
			実績		26,000	26,000	26,000	30,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		ヒラメ稚魚の放流数						
指標	マダイ放流数	尾	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	17,000
			実績		15,000	15,000	15,000	17,000
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		マダイ稚魚の放流数						
指標	キジハタ放流数	尾	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	
			実績		2,000	2,000	2,000	
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0
指標の説明		キジハタ稚魚の放流数						
指標に基づく評価	毎年計画に沿って放流することにより、漁獲資源の維持・増加が図れ、水揚げ量を確保することに繋がっております。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>		
<p>種苗の生育や生存、また成長した放流漁の水揚げについては、海中の環境や気象など色々な面で影響を受けるので、育ちやすく増えやすい魚種や放流先に適合しやすい種類などの選定が重要になってくると思います。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>ヒラメやアワビなどを放流することで、地域の水産資源の定着・増加が図られると共に、市が事業の支援を行う事で、漁業者による放流等が維持・継続され、ただ漁をするだけでなく、つくり育てる栽培漁業の地域定着が図れています。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大	事業	101	水産業振興事業			中	事業	16	越前がにブランド化事業
小	事業	01	越前がにブランド化事業						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市の貴重な水産資源である「越前がに」の高付加価値化に取り組むことにより、水産振興を図る。

【事業の概要】
○補助金 1,000 千円
・越前がにブランド化事業費補助金
事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合
事業内容：ズワイガニにつける産地表示用タグ（GI）8万個の作成補助
補助対象事業費：2,464千円
補助金（市1／2以内）：1,000千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	■越前がにのブランド化
-----------	-------------

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,000	1,000	1,399	0
	人件費	604	735	771	△ 132
	総事業費	1,604	1,735	2,170	△ 132
人員	正職員	0.09 人	0.11 人	0.11 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.09 人	0.11 人	0.11 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,604	1,735	2,170	△ 132

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
独自指標	タグ製作数量	万個	目標	8	10	10	10	10
			実績		8	8	10	10
	達成率(%)	0.0	80.0	80.0	100.0	100.0		
指標の説明		タグの作成数量						
独自指標	漁業経営体数	経営	目標	8	9	9	9	9
			実績		9	9	9	9
	達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標の説明		三国港機船底曳網漁業協同組合の経営体数						
独自指標	漁業従事者数	人	目標	55	59	58	58	58
			実績		61	59	58	58
	達成率(%)	0.0	103.4	101.7	100.0	100.0		
指標の説明		底曳網船の乗組員の数						
独自指標	越前がに 水揚げ量	kg	目標					
			実績		56,473	57,627	66,721	77,384
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標の説明		越前ガニの水揚げ量						
指標に基づく評価	越前がにの水揚げ量は減少しているが、ブランド化により付加価値を高め、魚価向上に寄与しています。また、平成30年から越前がにがGI登録され、タグの制作単価が上昇したため作成本数が減りましたが、GI制度に登録された事により、一層付加価値が高まっています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			他産地との差別化を図り、三国産の越前がにの付加価値を高めるためにもブランド化は必要ですが、価格が高騰しすぎると消費が抑制されるためそのバランスが今後は重要になると思います。
成果と改善点	<p>国の地理的表示（GI）保護制度登録によって越前がにのブランド力は向上しており、越前がにに取り付けるGIタグの支援をする事で、坂井市産越前がにブランドのPRや販売促進が図られました。</p> <p>（水揚げ額は前年より低いものの水揚げ額は上昇しています。H30：約355千円 R元：約361千円）</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	今後も、GIタグなどを活用しながら、三国産の越前がにブランドが全国に浸透し、付加価値が上がるよう寄与していきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	26	三国港内夜間安全確保事業		
小事業	01	三国港内夜間安全確保事業						他	事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 三国港内の投光機の照明により、漁業者、観光客等の安全を確保するとともに、三国港のイメージアップを図る。

【事業の概要】
 ○補助金 720 千円
 ・三国港内投光機使用料補助金
 事業実施主体：三国港機船底曳網漁業協同組合
 事業内容：三国港内に設置されている投光機の電気料に対する補助（8箇所）
 補助対象事業費：1,446千円
 補助金（市費 1/2以内） 720千円（限度額）

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	720	720	0
	人件費	604	735	△ 132
	総事業費	1,324	1,455	△ 132
人員	正職員	0.09 人	0.11 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.09 人	0.11 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,324	1,455	1,561

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標 独自指標	漁業者及び観光客等の転落事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		三国港地区内における転落事故の発生回数						
指標 独自指標	航路内の船舶事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		三国港地区の航路内での船舶事故の発生回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価
 投光機により事故などが無く安全性が認められます。

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			<p>投光機のLED化更新を随時行っていますが、全ての更新は未了です。電気使用量の削減にも寄与するため更新を推進する必要があります。</p>
成果と改善点	<p>投光機の設置により、三国港を利用する漁業者や観光客の転倒・転落等の事故や、船舶の事故、船舶や漁具類などの盗難事故防止に寄与しており、昨年度も事故など発生しておりません。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>市場や港も観光資源であることから、利用者の安全確保のために事業の継続は必要ですが、コスト削減や効率の面も考慮しLED化更新を進めながら事業の継続をしていきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	31	漁業関係種苗中間育成施設管理事業		
小事業	01	漁業関係種苗中間育成施設管理事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		嶺北地域栽培漁業推進協議会 中間育成施設管理規約			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 嶺北地域栽培漁業推進協議会が設置する中間育成施設の維持管理に要する経費を負担することにより、栽培漁業の一層の地域定着化と拡大を図る。

【事業の概要】
 ○負担金 500 千円
 ・嶺北地域栽培漁業推進協議会負担金
 負担市町村：4市町（坂井市、福井市、越前町、南越前町）
 負担金額： 協議会活動費 1,200千円×1/4×1/3=100千円
 （坂井市1/3と三国栽培協2/3で分担負担）
 協議会運営費 1,200千円×1/4=300千円
 維持管理費 400千円×1/4=100千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	500	500	0
	人件費	1,140	1,070	71
	総事業費	1,640	1,570	71
人員	正職員	0.17 人	0.16 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.16 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	1,640	1,570	1,481

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	協議会加入団体	団体	目標	4	4	4	4	4
			実績		4	4	4	4
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		協議会加入団体：坂井市、福井市、越前町、南越前町						
指標	中間育成（ヒラメ）坂井市分	尾	目標	20,000	26,000	26,000	26,000	30,000
			実績		26,000	26,000	26,000	30,000
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったヒラメの尾数						
指標	中間育成（アワビ）坂井市分	個	目標	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000
			実績		28,700	37,000	37,000	37,000
		達成率(%)	0.0	77.6	100.0	100.0	100.0	
指標の説明		中間育成を行ったアワビの個数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								

指標に基づく評価
 放流に係る費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから効果があります。
 また、令和元年度は購入先の変更や生産不良などで、アワビ種苗の放流が予定数より少なくなりました。

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			中間育成施設の老朽化等に伴い、嶺北地域栽培漁業推進協議会を構成する関係市町や関係漁協などと協議し、今後の中間育成事業について、新たな魚種の選定や施設更新などの計画を作成する必要があります。
成果と改善点	ヒラメやアワビ種苗を中間育成し放流する事で、地域の水産資源の定着・増加に寄与すると共に、継続して実施することで栽培漁業の地域定着が図れています。中間育成施設の更新や新規魚種に関する問題は、今後の運営費などの負担増に繋がる可能性もあるため、事務局会議などの場で慎重に協議し、最善の方向を見定めています。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	改善（見直し）	
方向性の理由	施設の更新や新規魚種の選定など、関係市町・漁協と協議をしながら最善となる方向性を決め、中間育成及び栽培漁業の更なる推進に向けて事業を行います	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	36	内水面漁業振興事業		
小事業	01	内水面漁業振興事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
内水面漁業資源の増大を図るため、組織的な種苗生息環境整備等を行い、良好な漁場環境保全と内水面漁業振興に資する。

【事業の概要】
○補助金 90 千円
・竹田川漁業協同組合活動事業費補助金
事業実施主体：竹田川漁業協同組合
事業内容：放流事業 5月21日 アユ稚魚 100kg
11月 5日 イワナ稚魚 20kg
11月 5日 ヤマメ稚魚 20kg
漁場管理及び監視活動
補助対象経費：847千円
補助金（市費 1/2以内） 90千円（限度額）

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	90	90	0
	人件費	604	669	△ 65
	総事業費	694	759	△ 65
人員	正職員	0.09 人	0.10 人	△ 0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.09 人	0.10 人	△ 0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	694	759	931

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標 独自指標	漁場維持管理（草刈、巡回監視）	日	目標	0	90	88	83	80
			実績		90	88	83	80
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		竹田川漁業協同組合が実施した日数						
指標 独自指標	放流事業（アユ）	kg	目標	100	100	100	100	95
			実績		100	95	100	95
			達成率(%)	0.0	100.0	95.0	100.0	100.0
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（ヤマメ）	kg	目標	20	20	30	30	30
			実績		20	20	30	30
			達成率(%)	0.0	100.0	66.7	100.0	100.0
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標 独自指標	放流事業（イワナ）	kg	目標	20	20	25	25	25
			実績		20	20	25	25
			達成率(%)	0.0	100.0	80.0	100.0	100.0
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した量						
指標に基づく評価	漁業協同組合が漁場を維持管理することで、環境美化に寄与しています。また、自然豊かな環境で遊漁できることは、観光客誘致などにも寄与しています。遊漁者が多く訪れる条件としては、自然環境に加え多く魚が生息している必要があるため、放流事業も効果が認められます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
令和元年度までは放流事業及び漁場維持管理を行ってきましたが、令和2年度からは本補助金では放流事業のみに絞って活動を実施します。			
成果と改善点	内水面漁場の維持管理事業及び放流事業に対する支援により良好な漁場環境保全と漁業振興に寄与しました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業			中事業	56	水産業振興イベント事業		
小事業	01	三国市場さかな祭事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 坂井市で水揚げされた低利用の水産物について「底曳、一本釣り、浅海」の漁業関係者が主体となって実施する、低利用水産物の販売促進を目的としたイベントの開催を支援する。</p>
<p>【事業の概要】 ○補助金 475 千円 ・三国市場さかな祭事業補助金 事業実施主体：三国市場さかな祭実行委員会 事業内容：さかな祭りの開催（9月8日） 補助対象事業費：950千円 補助金（市費 1/2以内） 475千円</p>

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	■三国市場さかな祭り
-----------	------------

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	475	500	439	△ 25
	人件費	1,610	1,203	1,051	407
	総事業費	2,085	1,703	1,490	382
人員	正職員	0.24 人	0.18 人	0.15 人	0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.24 人	0.18 人	0.15 人	0.06 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,085	1,703	1,490	382

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	イベント来場者数	人	目標	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績		2,520	2,300	2,500	2,500
			達成率(%)	0.0	100.8	92.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	イベント出店数	店	目標	10	10	10	10	9
			実績		11	11	10	9
			達成率(%)	0.0	110.0	110.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	毎年、年1回実施している「三国市場さかな祭」の来場者も多く地元産の水産物のPRや魚食普及などに効果があります。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>		
<p>三国市場で実施するため来場者駐車場に限られるため、近隣駐車場の有効活用や公共交通機関の利用促進を図る必要があります。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>三国市場さかな祭では、甘えびのつめ放題、海産物の販売等が行われ、市内外から多くの来場者があり、三国の海産物のPRや魚食の普及等を図ることができました。令和元年度より甘えびの食べ方レシピの配布及び漁業取締船（若越）の乗船体験を実施しました。甘えびの刺身以外の食べ方を知ってもらう機会ができ、若越に乗車する人も多数見受けられました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	201	水産多面的機能発揮対策事業			中事業	01	水産多面的機能発揮対策事業		
小事業	01	水産多面的機能発揮対策事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
水産業の再生・漁村の活性化を図るため地域協議会を設置し、水産業・漁村の多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する地域の取り組みに対し支援する。

【事業の概要】

- 旅費 103 千円
 - ・特別旅費 水産多面的事業講習会参加
- 需用費 127 千円
 - ・消耗品費 活動組織の指導等確認事務を実施
- 負担金 2,291 千円
 - ・福井県水産多面的機能発揮対策地域協議会負担金
負担割合：国70%、県15%、市15%

(単位：千円)

組織名	地区名	交付金額	うち市負担金額
安島マリンプロジェクト	三国町安島	4,312	647
崎生態系保全活動グループ	三国町崎	3,200	480
梶生態系保全活動グループ	三国町梶	3,051	458
米ヶ脇里海を守る会	三国町米ヶ脇	3,623	543
浜地里海を育てる会	三国町浜地	1,085	163
三国沖の海を見守る会	三国港漁協	889	0
合計（6組織）		16,160	2,291

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	2,520	2,384	2,506	136
	人件費	2,952	2,875	1,752	77
	総事業費	5,472	5,259	4,258	213
人員	正職員	0.44 人	0.43 人	0.25 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.44 人	0.43 人	0.25 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	230	221	189	9
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,242	5,038	4,069	204

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	活動組織	組織	目標	6	6	5	5	5
			実績		6	5	5	5
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標	39	23	23	23	23
			実績		39	23	23	23
		達成率(%)	0.0	169.6	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	漁業者が中心となり地域活動として、藻場の保全や漂着物の処理を実施しています。漁業者以外の方にも多面的機能の必要性を共有することができ、地域として保全活動が実施できています。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>水産業・漁村の多面的機能の効果的な発揮に資する地域の取り組みに対し支援を行うことで、藻場の保全や海岸美化につながっています。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>沿岸各地区の住民が協力して、藻場の保全や海岸清掃に取り組み、海の持つ多面的機能の発揮に寄与しました。なお、交付金が適切に処理されるよう各組織への指導及び検査を地域協議会（県）と共に徹底しました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>		

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	18	森林環境譲与税基金費
大	事業	001	森林環境譲与税基金	中	事業	01	森林環境譲与税基金		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興		林業水産振興課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	有	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律			
根拠例規	有	坂井市森林環境譲与税基金条例			
関連計画・マニュアル	有	あわら市・坂井市森林整備構想			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市における森林の整備及びその促進に要する経費の財源に充てるため、坂井市森林環境譲与税基金を設置する。

【事業の概要】

○積立金 7,318千円
・森林環境譲与税基金積立金（預金利息含む）

森林環境譲与税基金の状況 (単位：千円)

平成30年度末残高①	令和元年度中 増減額		令和元年度末残高④ ①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
0	2,500	7,318	4,818

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	7,318			7,318
人件費	268			268
総事業費	7,586	0	0	7,586
人員				
正職員	0.04 人			0.04 人
臨時職員	0.00 人			0.00 人
人員計	0.04 人	0.00 人	0.00 人	0.04 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	1	0	0	1
一般財源	7,585	0	0	7,585

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	基金残高	千円	目標	18,468	4,819			
			実績		4,819			
			達成率(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		基金積立額						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	「あわら市・坂井市森林整備構想」にて構想した中長期的な事業実施に備え、基金を積立します。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
成果と改善点	「あわら市・坂井市森林整備構想」にて構想した中長期的な各種森林整備事業実施に備え、基金積立を継続します。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	
方向性の理由	基金を積み立てる事業のため、評価しないこととします。